

銚子市公立保育所再編方針（案）説明会（海鹿島保育所関係者第2回） 概要

- 1 日時 令和2年1月11日（土） 午前10時5分から午後0時
- 2 場所 市民センター 会議室1・会議室2
- 3 参加者

| 海鹿島保育所 保護者・関係者 | 指定管理 受託者 | 市議会議員 （傍聴） | 事務局職員 | 合計 |
|-------------------|-------------|---------------|-------|-----|
| 15名 | 8名 | 14名 | 5名 | 42名 |

4 概要

- (1) 事務局職員紹介
- (2) あいさつ（山口子育て支援課長）
- (3) 内容説明（神崎課長補佐）
- (4) 質疑応答

【関係者】

行革の流れの中で、海鹿島保育所の閉所が取り上げられたのではないかと
思うが、閉所ありきという印象がある。（再編について取り上げられた）子ども・
子育て会議の委員15名に海鹿島保育所関係者が入っていないのはなぜか。

【事務局】

海鹿島保育所を閉める検討ではなく、公立保育所の再編にあたりどこを残す
のかという検討をした。説明にもあったとおり、このまま市が4か所の公立保育
所を今後も維持していくことは、難しい状況。市の西側に居住する方が入所でき
る保育所が遠く、通所に苦労されている方が多い現実がある。

また、保育所での教育という観点からも、いくつもの保育所を少人数のクラス
で運営していくのは市の方針としては難しいところ。

子ども・子育て会議は各方面から人材を選定し、平成30年5月から2年の任
期で委員を依頼したもので、意図して会議メンバーに含めなかったわけではな
い。

【関係者】

海鹿島保育所はそれほど市の財政負担になっているのか。保育委託料として
平成29年度、75,226,500円、平成30年度の保育委託料は70,949,270円、これ
は、国、県の交付税を源泉とするもので、財政負担はないのではないかと。

50万円を超える修繕費は市が出すことになっているが、それほど市に負担は

かけていないと考えるがいかがか。

【事務局】

国から交付税はあるが、人数によっていくらかと明確には言えない。市の負担もある。

【関係者】

建築後 50 年と言われれば古いと思うが、どこが悪いのか専門家の調査はしたのか。

【事務局】

調査自体はしていない。海鹿島保育所の建物は古いが、丁寧に使っていると思う。しかし、水道の配管など、表面に見えないところの修繕は必要と思われる。平成 27 年には調理室の水道管からの漏水があった。大きな修繕があった場合に市では急な対応ができない状況。

【関係者】

海鹿島保育所は現在（3 歳）未満児が 29 名在籍している。人口減少とあるが、就労を希望する母親は多いと思う。未満児保育は重要で、銚子市が働きやすい街として、銚子の人口増加にも寄与すると感じる。

【事務局】

子育て支援課は入所受付、相談を受ける窓口なので（3 歳）未満児の保育の必要性、重要性は認識している。現時点で、就労希望の方が多いことも考慮しての再編計画の提示である。

【関係者】

再編計画のなかで、海鹿島保育所の閉所が優先されるのはなぜか。

【事務局】

保育所を閉所した際に、通っているお子さんが他の保育所で受け入れができるように、保育所の待機児童を出さないように、入所児童数の少ない保育所の閉所を先にした。

【保護者】

先日、海鹿島保育所での説明会の時に出た保護者の方の意見を披露する。

人口減少や市の財政難については理解している。その一方で話が進んでいる中学校の再編、具体的な話は出ていないが小学校も今後、数は減るのだと思う。それは致し方ないのかと思う面もある。学校は幼稚園や保育所以上に様々な人

との関係性を学ぶ場であるので、人数が少ないというのは課題があると考えます。中学生の場合、やりたい部活動ができないなどという話も耳にしたことがあり、話が進んでいる中学校の再編は急ぐべきなのかな、と感じました。

そのうえで、保育所を減らすというのは、最後にしていただきたい。

【事務局】

小中学校再編については、子育て支援課では回答できる立場ではないので、意見として受け止める。

海鹿島保育所の環境が良いこと、50年の歴史からくる地域の方との繋がりも承知している。

【保護者】

噂で聞いたが、保育所再編のきっかけが「民間保育所連絡協議会からの要望」というのは事実か。また、その要望に公立の定数を減らすことも含まれていたと聞いたが可能なのか。もし、可能ならば、保育所の閉所ではなく定数削減もあるのではないか。

【事務局】

民間保育所連絡協議会から要望書の提出はあった。ただ、この要望書が提出されたから再編を進めるわけではない。出生数の減少も考えたうえで、3年後に閉所という案を提示した。閉所までに多少の年数があり他の保育所に移るにしても、検討の時間が持てるように考えた。

要望書には公立の定数を減らすというものもあった。定員の減は可能だが、保育所再編を考えると減らした定員を戻すのは簡単ではなく、公立保育所について現時点で認可定員を減らすことは予定していない。小さい規模の保育所が4つ残るといふ形であれば皆さんの利便性に応えられるが、公立保育所は多くの定員に対応するために建てられた施設のため、少ない人数での運営では非効率である。

【保護者】

海鹿島保育所は事業団が指定管理で運営しているため、市の財政負担は一切ないと聞いている。

【事務局】

保育所を運営していくための費用は他の民間保育園と同じように支出している。国、県から受け取るお金はあるが、全てが賄われるわけではなく、民間保育園に支出するのと同じくらいの市の負担はあると思われる。

確かに児童一人当たりにかかる経費は他の公立保育所と比べると、海鹿島は低い。民間としての経営努力もありそのような結果になっていると思われる。

その一方で、第二保育所では、一時保育事業を行うなどしているため児童ひとりあたりに換算すると経費がかかっている計算になる。

【保護者】

子ども・子育て会議に海鹿島保育所の関係者をオブザーバーとして呼ぶことはできなかったのか。

【事務局】

子ども・子育て会議委員に意見をいただいたが、検討委員会ではないので、海鹿島保育所の関係者の出席は予定していなかった。

10月の会議で初めて第二保育所と第四保育所を残す案（閉所の候補に海鹿島と第三）を提示させていただき、11月25日の会議で具体的にいつから閉所するかという話になった。そして保護者の皆さんへの説明ということで、保育会長、保護者会会長、副会長と相談させていただき、今日に至った。

【保護者】

昨日の第三保育所保護者向けの説明会では、どのような質問、意見が出たか伺う。小中学校の再編の話が出たと聞いたが、その他の質問は。

【事務局】

質問ではなく要望であったが、「公立保育所を必ず二つは残してください。」というもの。自分が通い、わが子が通っている保育所を残して欲しいと思うが、やむを得ないのであれば、特定妊婦（出産後のリスクが予測される妊婦）や児童虐待防止の観点からも、公立保育所を一つだけではなく、二つは残して欲しい、という意見が出た。

【保護者】

0.1.2歳児の途中入所について再編後どのようなになるのか。待機児童が出てしまうのでは。対策については。

【事務局】

現時点では途中入所の受け入れは可能の見込みであり、その体制は整えていく。

【保護者】

駐車場については、海鹿島保育所以外はどのような状況か。

【事務局】

第四は駐車場がなく、第三も保育所敷地に7台分程度ほか職員が借りている駐車場の空きスペースを使っている。第二は保育所の前に7～8台、駐車場の件

は課題と認識している。

【保護者】

保育所を移るとなると環境が変わり、子どもの負担は大きいと考えるが、第一保育所が閉所した際にどのような対応を取ったのか。

【事務局】

第一保育所閉所の前には第三保育所との交流を行い、様々な行事を一緒に行った。ただし、すべての児童が第三保育所に移ったわけではなく保護者の希望で他の保育所に移った方もいた。

環境が変わることが負担という保護者の不安もわかる。しかし、その不安を解消するのも保育を学んできた保育士。経験もあり、託児ではなく保育のプロが対応していく。

定形発達の児童に比べこだわりの強い児童の対応は、第二、第三、第四保育所は児童発達支援センターとの交流や併用利用を勧めるなどしている。心配せずにお任せいただきたい。

【保護者】

11月25日の会議で初めて海鹿島保育所の閉所が示されたということですが、これは決定ということですか。

【事務局】

ここにあるように、現時点では案。

意見

- 保育所があるから子どもが増えるという単純な話ではないが、保育所が無くなると、人口減少の速度が加速すると思う。
- 出生率の低下は全国的な問題であるが、銚子はそれに加えて近隣市に子育て世代が転出しているという現状がある。それにより人口減少のスピードが加速している。
- 市全体のこととして、これまでのしわ寄せが、未来を担う子供たちと子育てしている親に来ている状態だと思う。
- 税金の無駄遣いは避けるべきだが、教育と子育て支援にかかる費用は削るべきではないと思う。
- 銚子市は良い場所だと思うが、それが生かせていない。本気度、熱量が不足していると思う。同じことをしても、成功するのとならないのではそのようなところに差がある。

- 海鹿島保育所は、あの場所に意味があると思っている。他の保育所の立地が悪いわけではないが、あの場所を超える保育所はないと思う。海に歩いて行ける。高台の固い岩盤の上にある。出荷量日本一の春キャベツの畑に囲まれている。銚子電鉄が見え、犬吠埼にも近い。
- 子どもたちは、一度銚子を離れるかもしれないが戻ってきたいと思うかどうかは子どもの時の過ごし方だと思う。子どもの郷土愛を育むのは親の姿勢だが、週の大半を過ごす保育所の環境は大いに影響を与えると思う。
- 個人的な希望としては残す候補として、第二保育所が上がっているが、建物が比較的新しい第三とロケーションが最高の海鹿島保育所にしていただけ、第三保育所が建て替えになるとしたら、海鹿島に新しい保育所を建てて集約してもらえるのが良い。
- 人間関係が希薄になっている現在においても長年培ってきた地域との繋がりがあり、海鹿島保育所は地域の子育て支援の拠点になっている。
- 物理的な要因が大きいと思うが、50年の歴史を持つ海鹿島保育所の歴史的背景・地域との関わり、なぜ海鹿島保育所は人気があるのかが加味されず誠に残念。
- 長く勤める保育士がいて、地域との繋がりも深い。
- 築年数が古いことや、老朽化などの理由で残す保育所に選ばれないことが残念。
- 数十年後第二、第四の大規模改修が必要になった時には、海鹿島保育所の場所に建てて欲しい。それほど立地条件が優れている。
- 海鹿島保育所の複合クラスの在り方は他の保育所が見習うべき視点がたくさんあると思う。年長児は年中児と同じクラスにすることで、お兄さんお姉さんという自覚が芽生え、クラスをしっかりと引っ張って行ってくれている。
- 自分自身職場に復帰しなければならず、仕方なく年度の途中で下の子を海鹿島保育所に預けることになった。この乳児の時期に保育士の方の愛情をたっぷりと受けることが必要だと思う。人数が少なくなるとできない活動もあるとは思いますが複合クラスでうまくやっている。同じ学年の子がたくさんいればできることも多くあるが、愛情の面ではどうか。海鹿島保育所のように規模はこじんまりしていても先生方が在籍している園児全員の名前と顔を覚えていてクラス分け隔てなく接して、手をたっぷりかけてくれる海鹿島保育所に魅力を感じる。上の子どもたちは幼稚園に通わせていたため、転園を考えていたが、上の子どもたちが、「このまま海鹿島保育所のほうが良いよ。」と言ってくれた。子供たちにとっても、魅力のある場所。
小学校に入る前の年長の一年間がとても重要なのは重々承知している。

年長の時に集団行動ができたとしても、小学校に上がってからできなくなってしまうのでは、それは違うと思う。銚子市がすべきなのは保育所の再編ではなく、自分の意志を持ち仲間との集団を経験したり、切磋琢磨する小中学校の再編ではないか。以上のことから海鹿島保育所の再編を考え直してほしい。

指定管理者意見

- 去年3月の時点では海鹿島保育所は指定管理期間の終わる来年度3月（令和2年度末）の閉所を市として決定したと聞いた。
しかし、今いる子どもたちに影響の少ない形で卒園できることを考え（閉所を）3年後まで延ばしましょう、としてくれたのが、今回の再編方針と考えている。その点については敬意を表す。
- 問題なのは行革の一環として成果を残さなければならない、ということから再編が出発していることだと思う。前回の再編後7年間検討してこなかったものを、短期間で答えを出さなければならないという点が、非常に無理があり、これを白紙撤回して改めて銚子市の子育てをどうすべきか、という観点から再編計画を作りなおしていただけたらと考える。
- 民間保育所を存続させることは、地域の大きな社会資源であるから、非常に必要。それが無くなるということは、保育所と地域との繋がりが無くなってしまうということ。
- 第二保育所は定員が一番大きいからそこに集約するということがだが、それは公立で囲いこむということになる。民間の保育所にも移っていただくことも大切だと思う、そうでないと民間もこれからは経営が成り立たないと思われる。
- 海鹿島保育所に限っていえば、海鹿島保育所をなくすメリットが全く見えてこない。確かに交付税の問題等はあるが、現在海鹿島保育所にいる子どもたちが他の公立に移っても、私立に行っても、かかる金額は変わらない。
維持管理費の問題のみである。指定管理という民間の力を使ってやり方を考えればよいだけではないのか。
- ほかにも言いたいことはあるが、本日は海鹿島保育所に通う皆さんのご意見を聞くことが主なので、意見書等の形で事業団の考えを伝えていくこととしたい。